

サッカー指導者講習会
Coaches clinic K F A

～ NTC北海道サブチーフ 山崎氏による指導 ～

育成年代では、まず何よりもサッカーの技術を習得する必要があります。今回はNTCのメニューから「サッカーの基本」について実技を中心に行います。

どなたでも参加できますので、お気軽にご参加ください。

日時: 2009年9月12日(土) 14:00～16:00

場所: 新釧路川河畔サッカー場Cグラウンド(愛国側上流の芝G)

内容: 指導実技・ディスカッション

講師: ナショナルトレセンコーチ 北海道サブチーフ 山崎 茂雄氏

* 保険に加入の上参加のこと(怪我などの処置はおこないません)

申し込み・問い合わせ

技術委員会 中畑(携帯: 090 - 9088 - 7277)まで

* 当日参加・見学も可能です。

釧路の課題

全国大会では、蹴り込んでこぼれ球を拾う戦略では勝てなくなっている
全国大会では、選手を複数のポジションで出場させている
全国大会では、1 / 3のチームは登録選手全員を出場させている(全日本少年大会08)
全国大会では、基本の質が上がっている(止める・蹴る・運ぶが上手になってきている)
* 指導者が育てながら、勝つことにチャレンジしている

釧路では、依然として、「蹴り込んでこぼれ球を拾う戦略」が3・4種年代でも多く見られる。選手を固定したポジションや型にはめた戦術で使う、駒として選手を使うことが見られる。公式戦の経験のない選手が多い。ゲームの中で「止める・蹴る・運ぶ」の個人の技術を発揮させる場面が少ない。そんな中でNTC 北海道 U-12 に選出された選手もいて、けっして選手自体のレベルが低いわけではありません。釧路の4種委員会でも講習会を開き、課題や今後の取り組みについて考えています。今後は、釧路の子どもたちの将来のために様々な取り組みが見られていくことになるでしょう。

JFA の提案

選手の育成にチャレンジできるリーグ戦の導入
8人制サッカーの導入(よりテクニカルにスピーディに課題にチャレンジ)
一人審判の導入(審判へのリスペクト)
指導者養成
その他

釧路サッカー協会でも、様々な取り組みを展開しています。この指導者講習会もその取り組みの一つです。選手育成のキーパーソンである指導者自身がサッカーを学ぶための取り組みです。指導者ばかりでなく、育成のサッカーに関わる全ての人に参加していただける取り組みにしたいと思います。

「コーチにとって大事なものは我慢ではなくて、コーチ自身が勉強すること。コーチの持って生まれた才能が大事だが、それに加えてさらに広い視野で考えること。自分の頭で考えること。練習の計画、プログラムをただ真似するのではなく自分が指導している子どもに対応して変化させること。そういうところで努力することが大事で、決してそれは我慢することではありません。」(イビチャ・オシム)